

つばさ

平成 29 年度 生涯学習課だより

第 311 号 (3 月)



教育長 佐々木浩治

今年の冬は、11月からの積雪で早めの冬を迎え、厳しい寒波が何度も訪れるなど大変荒れた冬となりました。今まで一度も水道の凍結をしたことがない家でも、凍ったなど本当に寒さを感じた冬だったのではないかと思います。

さて、3月は、学校では別れの季節であり、本町においても13日には豊浦中で、そして20日には3つの小学校で卒業式を迎えます。それぞれ3年間、6年間という月日を仲間や先生たちと過ごしてきたわけですから、この卒業という思いには格別のものがあるのではないかと考えます。

特に、中学生は9年間以上今まで一緒に過ごしてきた仲間と別れ、4月からはそれぞれが選択した道へと進みます。なかには、豊浦を離れ新たなまちで生活を始める子どもたちも出てきます。勿論、自分で考え選択した進路ですので明るく華やかな気分で生活を始めることと思いますが、新しい生活への不安を感じたり、すぐには馴染めなかったりする部分も出てくると思います。

その時には、家や友達に連絡し、新たな活力を得て生活してみてください。

以前私が読んだ本の中に、人生をプラス思考で考えた方が人生を楽しむことができると書いてありました。

例えば、生きていく中でいくつも試練を迎える時が来ます。そのような時は、「神は、乗り越えられる試練しかあなたに与えない。」という言葉思い出します。そう考えれば、その試練というものに落ち込まず自分を楽に居させてくれることになります。

その他にも、「努力は必ず報われる。」「どんなに深い夜でも、朝陽は必ずまた昇る。」「笑いながら生きても、泣きながら生きても、人生は一度きり。」など、物事はプラス思考で考えた方が楽に生きられるのです。

ぜひ、苦しんだり困ったりしている時こそ、プラス思考で考えてみてください。

また、小学生の皆さんは、今まで合同学習や修学旅行で一緒だった町内の同級生と同じ教室で生活することになります。一日も早く中学校生活に慣れ、生徒会活動や部活動で活躍できることを楽しみにしています。この1年間、教育委員会の事業に際しましてご支援・ご協力いただきありがとうございました。

公民館公開講座

「醤油（麴）講座」 & ひょうたんランプづくり講座



2月10日(土)に「醤油(麴)講座」が、17日(土)には「ひょうたんランプづくり講座」が中央公民館で開催されました。

日本人にはなじみ深い醤油ですが、できるまでの過程など意外と知らないことも多く、参加者は熱心に講師の説明に耳を傾けていました。

また、ひょうたんランプづくり講座では、中をくりぬいたひょうたんに思い思いに図柄を描き、錐(きり)や電動ドリルなどで穴をあけました。最後にLEDライトをはめこむと、美しい光を放つランプが完成しました。